校長室だより おみっ子通信

令和６年９月３０日
麻績小学校
Ｎｏ．７

思い合いの心で みんなが笑顔！

厳しかった夏の暑さもおさまり、朝や夜は涼しく感じる日が増えてきました。
一方、子どもたちは１０月１８日に行われる「おみっこミュージックフェスティバル」に向けて、練習に熱が入ってきています。
９月は、学校を飛び出して校外で学んだり、さまざまな方に学校に来ていただいて学んだり、子どもたちの学びが広がったり深まったりしました。

校外での学び　～修学旅行・海の学習・遠足～

日本の政治の中枢で（６年）

日本海でのゴミ拾い（４年）

切り通しの岩の大きさ（１年）

「その場所」に行かなければ体験できないことがあります。
６年生は修学旅行で東京に行き、国会議事堂や本格的なミュージカル、おいしい食事など、日本の政治や文化の中心について五感を通して学んできました。４年生は学級中核活動の麻績の環境問題をさらに深く追究しようと、日本海まで行ってゴミの様子を目の当たりにしてきました。１年生は遠足で、長い距離をがんばって歩きました。筑北村の切り通しを通ったときには、加工された大きな岩をさわってみている子もいました。
自分の目で見たり、耳で聞いたり、手でさわったり、校外ならではの学びをこれからも大切にしていきます。

地域や保護者の方との学び～田んぼ・読み語り・英語学習～

稲のしばり方を学ぶ（５年）

絵本の世界に入り込む（２年）

英語でやり取りを楽しむ（３年）

「ひと」と関わって学ぶことも貴重な体験となります。
５年生は稲作の学習で収穫の時を迎えましたが、手で刈った稲をまとめてしばるのは難しかったようです。丁寧に教えていただきました。読み語りの時間は、全校の児童が楽しみにしています。保護者やスクールパートナーズの方が読んでくださる本の内容に引き込まれています。ジェニー先生のご両親が来日され、教室を訪問してくれました。自分から英語で話しかける子が多く、コミュニケーション力の高まりが感じられました。
いつもの学校職員だけでなく、さまざまな大人から学ぶ機会にも、大切に取り組んで行きます。